



こんにちは。福山市立大学の地域連携コーディネーター、安藤です。

去る11月11日(土)～12日(日)

に、第12回大学祭「港輝祭(こうきさい)」が開催されました。実行委員会のメンバーを中心に、ゼミやサークルでもさまざまな模擬店、各種イベントが企画・出展された大イベントとなりました。

今年の港輝祭で連携担当が目にしたのは、同窓会が企画した「先生×卒業生トークセッション」多様な道 福山市立大学を卒業してから」です。教育学部の高澤健司先生と都市経営学部の岡辺重雄先生を迎え、各地域から集まった卒業生たちがクロストークを交わしました。

2011年に開学して以来、第9期までの卒業生を社会に送り出してきた本学では、1期生が立ち上げた同窓会が活動を続けています。今年から同窓会理事を務める西谷天さん(6期生)は、「2024年には同窓会が10周年を迎えます。この節目を契機に、体制や運営基盤を強化していきたい」と話します。

我々連携担当としても、卒業生の活躍には熱視線を送っています。社会に出てさまざまな形で活躍してきた卒業生は、地域と大学をつないでくれるハブのような存在。大学としても頼りにしていますし、卒業生からも大学を頼ってもらえるよう、取り組んでいく所存です。



これまでの学生の歴史と歩みがわかる特大ポスター

●地域連携セミナーレポート

はじめまして。安藤と同じく地域連携推進の仕事をしている伊藤です。私は大学主催の公開講座も担当しているので、今回は港輝祭の1日目に地域連携セミナーとして開催された「Fukuyama City University IDEA PITCH Vol.02」を紹介します。

PITCH(ピッチ)とは、短時間でアイデアを発表・提案することです。第2回となる今年は10組もの学生がエントリーし、授業やゼミ、サークルなどの活動やイベント、地域貢献事業を報告し、今後の展望やビジネスプランを発表しました。

学生の活動だからと侮るなかれ! 学生たちは自らが見つけた課題を解決するため、自分たちの力で自治体や企業と連携しながら活動を行っていて頼もしい限りです。



パネラーのみなさん、学生たちの活動に嬉しい驚き

このアイデアピッチをきっかけに、新たなイベントや事業が生まれるかもしれませんね。その際は大学もぜひお手伝いをさせていただきます。

パネラーとして、地元企業や団体の代表者様、大学の教員が参加しましたが、活動のクオリティや経済的な持続可能性の高さに驚か



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY

福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集